

# 石毛しげる



## 特集 コロナ対策で圧迫？ どうなる東京都の財政

**結論**

**現時点で東京都の財政力は安心、健全と言えます。**  
 税収減が想定される令和3年度はメリハリを強化した予算を組むべき。

### 大阪府・国との比較で見えてくる

都民の命と暮らし、東京の経済を守るため  
 累計1.6兆円の緊急コロナ対策を実施。  
 東京都の財政への影響について大阪府・国との  
 比較で考えてみます。

### 都予算(令和2年度)の状況(大阪府・国との比較)

区分	都 (一般会計補正予算後)	大阪府 (一般会計補正予算後)	国 (一般会計補正予算後)
財政規模	9兆0,154億円	3兆8,705億円	160兆2,607億円
税収	5兆4,446億円	1兆3,413億円	63兆5,130億円
地方債 (公債金) 起債依存度	3,558億円 3.9%	2,489億円 9.4%	90兆1,589億円 56.3%
起債残高	4.9兆円 税収比0.9倍	5.3兆円 税収比4.0倍	964兆円 税収比約15.2倍
財政調整基金残高	1,741億円	335億円	
特定目的基金残高	9,036億円	1,383億円 (平成30年度決算)	

\*起債依存度は、歳入に占める起債の割合であり、国は臨時・特別の措置に係る計数を含んで算出したものです。\*国の財政規模、税収は臨時・特別の措置に係る計数を含んだ額です。  
 \*都の起債残高は、令和元年度決算見込みを反映した額です。  
 \*国の起債残高は、復興債を含んだ額です。\*特定目的基金残高は、普通会計ベース。\*大阪府の特定目的基金残高は平成30年度決算。\*都は9月補正予算(9/3発表)反映\*大阪府は補正第10号(9/11発表)反映

**起債依存度(借金への依存度)は大阪府9.4%、国56.3%に比べて、都は3.9%と非常に低く、起債残高(借金の残高)も同じ。また基金残高も特定目的基金(福祉、環境、社会資本など)と合わせ1兆円と余力があり、来年度以降に想定される都税収入の減収局面に備えて都債を追加発行する体力があります。**

**大阪や国よりも東京都の財政力は優秀で安心、健全な財政運営と言えます。**

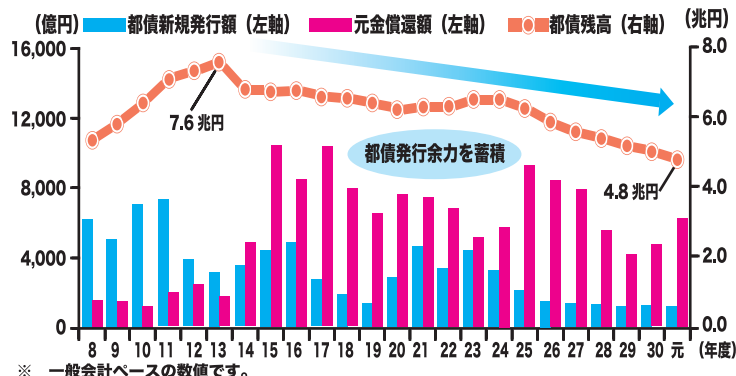
なお令和3年度の予算編成ではメリハリを強化、経常・定型的経費は16年ぶりのマイナスシーリングを実施する一方、都民の命と健康、社会経済活動を守り、コロナに打ち克つ施策、未来を切り拓く構造改革などは積極的に進めていきます。

### 20年前は財政危機!

#### 地道な自助努力を重ねてきた

都は、平成10年度に過去最悪1,068億円の赤字計上など財政再建団体転落の危機に直面。職員給与の臨時削減など内部努力の徹底、経常経費・投資的経費問わず施策見直し・再構築に都庁を挙げて取組み、歳出や都債発行の抑制を続け、積極的に償還を進めました。

### 都債新規発行額・元金償還額・都債残高の推移



こうして二次にわたる財政再建推進プランの取組みにより、平成17年度決算で実質収支の黒字転換など、財政再建に区切りをつけました。

さらに小池都知事は、賢い支出など事業評価(見直し)の徹底により、平成29年度から4年間で約3,500億円の財源確保、また都債残高を約6,000億円減少させています。

# 「新型コロナウイルス感染症対策」緊急対策を実施！

## 対策＝医療体制の強化

- 病床数：5月初旬 1000 床  
→現在 2500 床を確保（うち、重症病床数 150 床）
- 検査能力：5月初旬 500 件程度  
→現在 8600 件 / 日（新たな検査手法を導入し、1 万件に拡大予定）
- 宿泊療養施設の確保：都内 8 ホテルと契約、3,000 室を確保
- PCR 検査センター（PCR 外来）の設置（区市町村と医師会の連携で都内 40 カ所に設置）
- 保健所などの体制強化、区市町村への財政支援

## 対策＝スマホアプリの導入

- 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」（厚生労働省）
    - ・ 各スマホ同士で接触記録を自動的に蓄積し感染者が出た場合にその濃厚接触者に通知が届きます。
    - ・ GPS などの位置情報や個人情報を政府が取得するものではありません。
- 有効に機能するため導入率 6 割以上が必要とされています。  
ご協力をお願いします。



## 今後の対策

- 4つの抜本的な取り組み
- 検査体制の抜本的強化（だ液 PCR 検査と抗原検査の導入、積極的検査へ）
    - ・ 今後は予防的な検査を実施。
    - 高齢者施設などの入所者・スタッフの方の感染を未然に防ぐ。
  - 新型コロナ専用病院の設置（10月までに2カ所）
    - ・ コロナ患者を専門的に受け入れる施設を設け、院内感染の回避と各医療機関の効率を向上
  - スマホアプリの普及活用、保健所などのデジタル対応強化
    - ・ アナログのクラスター対策からの脱皮
  - 東京版 CDC（疾病対策予防センター）の設立
    - ・ 海外を参考に、科学的な感染症対策や情報提供の強化を体制整備

## 東京都新型コロナウイルス感染症対策サイト



最新の感染動向などについて、日々情報提供しています。

対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語

## 石毛しげるプロフィール

昭和 28 年 4 月 19 日 西東京市（旧保谷市）生まれ  
慶應義塾大学（文学部）卒業、法政大学（経済学部）卒業、  
早稲田大学大学院修士課程修了（現・政治学研究科公共経営）、  
早稲田大学大学院博士課程修了（現・政治学研究科公共経営）  
保谷市議会議員（5 期）、西東京市議会議員（1 期）、西東京市議会議員

東京都議会議員 石毛しげる 事務所

〒188-0014 西東京市芝久保町 3-6-23 Tel.042-460-0855 Fax.042-460-0856

E-mail : shigeru@ishige.info ※ご意見、ご要望をお寄せください。（E-mail、または Fax でお願いいたします。）

現在  
東京都議会議員（4 期）、  
（財）東京都交響楽団評議員、  
都議会警察・消防委員会委員長、  
早稲田大学招聘講師



ホームページ  
はこちらから